

日興AM中国A株ファンド2 ＜愛称 黄河Ⅱ＞

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第16期(決算日2020年9月23日)

作成対象期間(2019年9月25日～2020年9月23日)

第16期末(2020年9月23日)

基準価額	31,700円
純資産総額	2,392百万円
第16期	
騰落率	32.3%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法＞

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興AM中国A株ファンド2」は、2020年9月23日に第16期の決算を行ないました。当ファンドは、主として中国企業の人民元建株式(中国A株)に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<452505>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

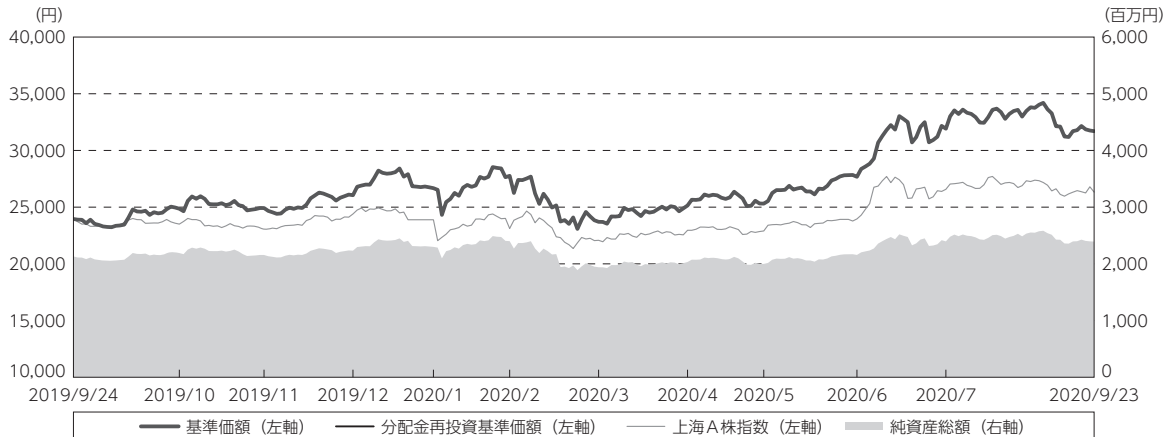
コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2019年9月25日～2020年9月23日)



期 首：23,954円

期 末：31,700円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 32.3% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額および上海A株指数は、期首(2019年9月24日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 上海A株指数は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として中国企業の人民元建株式を実質的な投資対象とし、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・ 中国人民銀行(PBOC)による預金準備率の引き下げや米中貿易交渉の「第一段階合意」署名などを好感して、中国の株式市場が上昇したこと。
- ・ 中国政府による金融・財政両面からの支援策などが好感されてリスクセンチメントが回復し、経済活動の再開期待や景気回復期待なども市場の下支えになったこと。
- ・ 国内の景気回復動向や潤沢な流動性などを下支えに、テクノロジー株や大型株を中心に市場が大幅高となったこと。

<値下がり要因>

- ・中国・武漢市で発生した新型コロナウイルスの感染拡大懸念が高まり、中国の株式市場が下落したこと。
- ・新型コロナウイルスのパンデミック（世界的な大流行）による景気減速懸念から世界的な株安が連鎖したこと。

1万口当たりの費用明細

(2019年9月25日～2020年9月23日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	618	2.304	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(294)	(1.097)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(294)	(1.097)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(29)	(0.110)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	90	0.334	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(90)	(0.334)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	50	0.187	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(50)	(0.187)	
(d) そ の 他 費 用	34	0.126	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(32)	(0.121)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	792	2.951	
期中の平均基準価額は、26,810円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

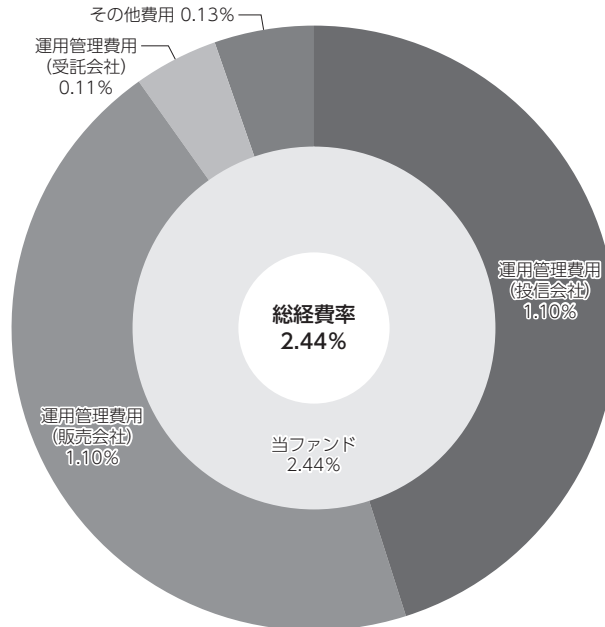
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.44%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年9月24日～2020年9月23日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額および上海A株指数は、2015年9月24日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2015年9月24日 決算日	2016年9月21日 決算日	2017年9月21日 決算日	2018年9月21日 決算日	2019年9月24日 決算日	2020年9月23日 決算日
基準価額 (円)	24,113	19,866	25,837	22,376	23,954	31,700
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 17.6	30.1	△ 13.4	7.1	32.3
上海A株指数騰落率 (%)	—	△ 3.8	11.0	△ 16.7	6.7	9.9
純資産総額 (百万円)	3,535	2,601	2,712	2,165	2,130	2,392

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 上海A株指数は当ファンドの参考指数です。
 参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

(2019年9月25日～2020年9月23日)

(株式市況)

中国の株式市場は、期間の初めと比べて大きく上昇しました。

期間の初めから2020年1月末にかけては、PBOCによる預金準備率の引き下げや米中貿易交渉の「第一段階合意」署名などを好材料に市場は堅調に上昇した後、中国・武漢市で発生した新型コロナウイルスの感染拡大懸念が春節（旧正月）前に高まり、下落しました。

その後、春節明けのPBOCによる巨額の流動性供給や財政支援策などを受けてリスクセンチメントが改善し、市場は急反発しましたが、3月に入ると新型コロナウイルスの感染が欧米へ急拡大し、パンデミックによる景気減速懸念から株安が連鎖して中国市場も急落しました。

4月から6月末にかけては、武漢市の封鎖措置が解除されたことや、中国政府による金融・財政両面からの一連の支援策なども好感されてリスクセンチメントが好転し、市場は反発基調を辿りました。欧米における経済活動の再開期待も高まり、中国の好調なマクロ経済指標を受けた景気回復期待や国内外からの中国A株市場への資金流入加速も追い風に、北京市内で発生した新型コロナウイルスの集団感染が警戒されつつも、市場は堅調に上昇基調を辿りました。

7月から期間末にかけては、予想を上回る国内の景気回復動向や、潤沢な流動性、当局による産業支援策の強化期待も下支えにテクノロジー株や大型株を中心に市場は大幅高となり、総領事館の閉鎖を巡る米中関係の悪化懸念などもこなして年初来高値を更新しました。テクノロジー株への利食い圧力などから期間末にかけてやや下落したものの、市場は期間中の大きな下げを取り戻し、大幅に上昇して期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／中国人民幣元の推移



当ファンドのポートフォリオ

(2019年9月25日～2020年9月23日)

(当ファンド)

当ファンドは、「中国A株マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(中国A株マザーファンド)

期間中、ファンドのパフォーマンスは期間末にかけて大幅高となった市場平均を上回って好調に推移しました。

期間の初めから2019年末にかけては、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）の回復や流動性の緩和を背景に市場が堅調に回復基調で推移し、テクノロジー関連株は新たなテクノロジーサイクルから恩恵を受け、スマートフォンの革新や5G（次世代移動通信規格）設備、電気自動車関連の急成長などを背景に企業の収益成長は市場予想を大きく上回りました。ファンドではこうした関連セクターの比率を高めにしてきたことが奏功して市場平均を上回るパフォーマンスとなりました。また、建材や機械についても積み増しを進めたことや、消費関連におけるポジションも寄与しました。

2020年の初めから4月末にかけては、中国における新型コロナウイルスの感染拡大を巡り市場が混乱しましたが、クラウド・コンピューティングやネット販売関連などのテクノロジー関連株の一部が社会的距離の確保が進むなかで恩恵を受け、ファンドのパフォーマンスも3月まで引き続き好調となりました。しかしその後、欧米の新型コロナウイルスの感染急拡大から世界的な株安が進むなかで中国A株も海外需要の低迷懸念などから急落しました。ファンドでは、テクノロジー関連のウェイトを引き下げ、消費関連やヘルスケアなどのディフェンシブ（景気動向に左右されにくい）セクターヘシフトを進めました。

7月末にかけては、国内の新型コロナウイルスの封じ込めや景気支援の潤沢な流動性などを受けて中国A株市場は急伸し、ヘルスケアやテクノロジー関連、消費関連株などがアウトパフォームするなかで、これらセクターへのオーバーウェイトや銘柄選択が奏功してファンドは好調に推移しました。上昇相場の中でテクノロジー関連を一部利食いし、ヘルスケアや景気循環株の出遅れ感のある銘柄ヘシフトしました。

8月から期間末にかけては、アウトパフォームを続けてきた銘柄が利食い圧力に押され、市場は徐々にピークアウトし始めました。ファンドでは、大幅高を経て市場は年末にかけては幾分底堅い値動きになると予想し、テクノロジーや消費関連のウェイトを引き下げ、景気循環や金融セクターヘシフトするなど継続的にリバランスを行ないました。

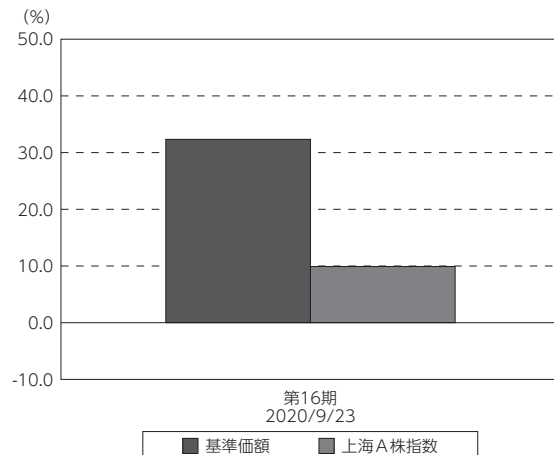
当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年9月25日～2020年9月23日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。
 (注) 上海A株指数は当ファンドの参考指数です。

分配金

(2019年9月25日～2020年9月23日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第16期
	2019年9月25日～ 2020年9月23日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	30,210

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「中国A株マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(中国A株マザーファンド)

当ファンドでは、中国A株市場は当面はレンジ内の穏やかな値動きで推移すると思われませんが、今後数ヵ月の見通しは引き続き明るいと予想しています。上場企業の2020年第2四半期の業績は市場予想をやや上回り、2021年第1四半期までの3四半期で収益成長の勢いも加速すると予想されます。一方で、景気回復を受けて中央銀行が金融政策を調整し、国内の流動性が引き締まる可能性があり、投資家にとっては流動性が大きな懸念材料になる可能性があります。しかしながら、米国連邦準備制度理事会(FRB)は米国経済が回復するまで、2022年まではゼロ金利や量的緩和策を維持する方針を示しており、海外の流動性は依然として潤沢であるとみています。また、足元では中国人民元高が顕著に進んでおり、今後数ヵ月間は海外投資家による中国A株買いが続くと予想されます。新型コロナウイルスのワクチン開発も完成に近づいているとみられ、今後数ヵ月以内に入手可能になれば市場のセンチメントは劇的に改善すると考えています。総じて、当ファンドでは市場にはまだ多くの構造的な投資機会があると考えており、ポートフォリオの運用にあたってはセクターローテーションよりも銘柄選択に重点を置く方針です。

こうした見通しの下、当ファンドでは引き続きポートフォリオの調整を行ない、アウトパフォームしている消費関連の一部ウェイトを、割安な景気循環株や出遅れ感のあるテクノロジー関連株へ振り向ける方針です。短期的には、景気回復に伴うファンダメンタルズの継続的な改善が期待される建材や、化学品、建設関連に積極姿勢を維持する方針です。一方で、割高感が大きく、今後利食い圧力に晒されることが予想される消費関連については一部ウェイトを引き下げる予定です。強弱織り交ぜとなっているテクノロジー株についてはセクター全体としてのオーバーウェイトよりも銘柄選択に重点を置き、株価の調整局面で情報家電・スマートフォン世界大手のサプライチェーン関連銘柄へ積み増しを検討する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

2019年9月25日から2020年9月23日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、受益者の利便性を高めるため、毎営業日において取得申込・一部解約ができるよう、2020年1月6日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。さらに、日々設定解約化に対応するため、以下の点につきましても、必要な措置として信託約款の一部に所要の変更を行ないました。

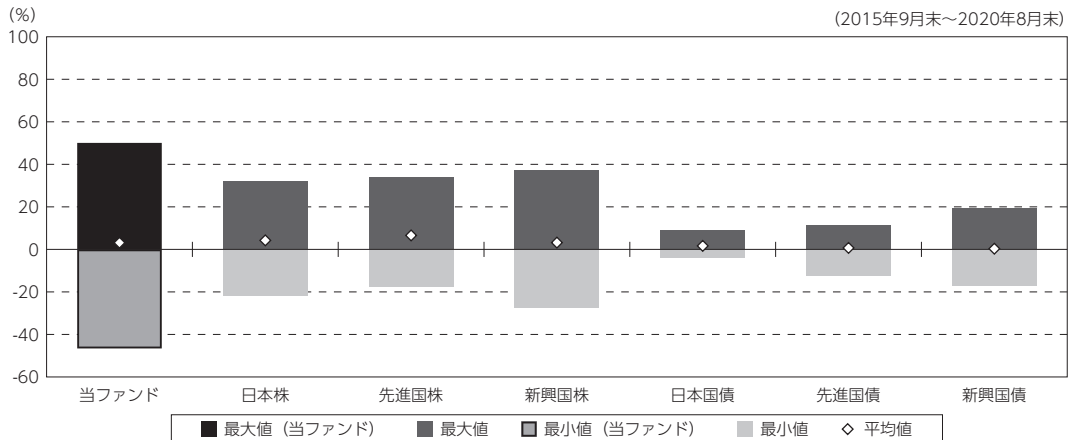
- ①当ファンドについて、以下のいずれかに該当する場合、取得申込および解約請求に応じないものとする変更を行ないました。
 - ア) 取得申込日・解約請求日が上海証券取引所の休業日、シンセン証券取引所の休業日または中国の銀行休業日の場合
 - イ) 取得申込日・解約請求日から起算して7営業日目までの期間中に、上海証券取引所の休業日、シンセン証券取引所の休業日または中国の銀行休業日が2日以上ある場合
- ②当ファンドについて、取得申込時の購入価額を「取得申込受付日の基準価額」から「取得申込日の翌営業日の基準価額」へ変更いたしました。
- ③当ファンドについて、一部解約時の換金価額を「解約請求受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額」から「解約請求日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額」へ変更いたしました。
- ④当ファンドについて、一部解約金の支払開始日を「解約請求受付日から起算して4営業日目」から「解約請求日から起算して7営業日目」へ変更いたしました。
(第12条、第47条、第50条、附則第5条)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2005年6月15日から原則無期限です。 (クローズド期間は、原則全期間です。)	
運用方針	主として「中国A株マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざします。	
主要投資対象	日興AM中国A株ファンド2	「中国A株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	中国A株マザーファンド	中国企業の人民元建株式を主要投資対象とします。
運用方法	主として中国企業の人民元建株式（中国A株）に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。主に、「中国A株マザーファンド」受益証券を通じて、上海証券取引所、深セン証券取引所に上場する中国A株を中心に投資します。	
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	50.1	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
最小値	△ 46.6	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	3.1	4.2	6.6	3.2	1.6	0.7	0.3

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年9月から2020年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2020年9月23日現在)

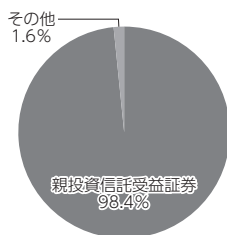
○組入上位ファンド

銘柄名	第16期末
中国A株マザーファンド	98.4%
組入銘柄数	1銘柄

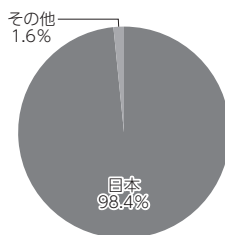
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

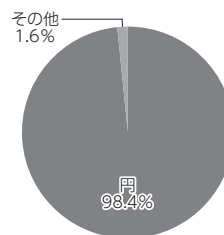
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

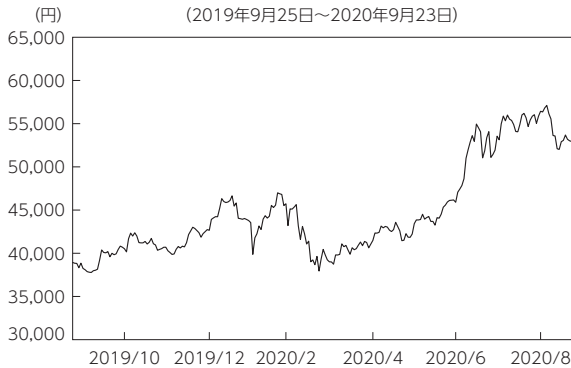
項目	第16期末
	2020年9月23日
純資産総額	2,392,339,457円
受益権総口数	754,682,454口
1万口当たり基準価額	31,700円

(注) 期中における追加設定元本額は45,752,300円、同解約元本額は180,472,997円です。

組入上位ファンドの概要

中国A株マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2019年9月25日～2020年9月23日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	145 (145)	0.327 (0.327)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	81 (81)	0.183 (0.183)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	54 (53) (0)	0.122 (0.121) (0.001)
合 計	280	0.632

期中の平均基準価額は、44,172円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

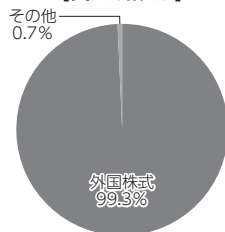
【組入上位10銘柄】

(2020年9月23日現在)

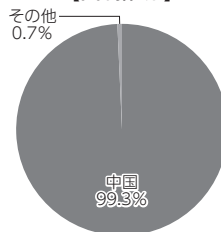
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
					%
1	CITIC SECURITIES CO-A SHARES-A	各種金融	中国人民币	中国	4.8
2	SANY HEAVY INDUSTRY CO LTD-A	資本財	中国人民币	中国	3.6
3	CHINA MERCHANTS BANK-A	銀行	中国人民币	中国	3.5
4	PING AN INSURANCE GROUP CO-A	保険	中国人民币	中国	3.0
5	GOERTEK INC -A	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	中国人民币	中国	2.9
6	LUXSHARE PRECISION INDUSTR-A	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	中国人民币	中国	2.8
7	WULIANGYE YIBIN CO LTD-A	食品・飲料・タバコ	中国人民币	中国	2.7
8	KWEI CHOW MOUTAI CO LTD-A	食品・飲料・タバコ	中国人民币	中国	2.4
9	CHONGQING ZHIFEI BIOLOGICA-A	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	中国人民币	中国	2.3
10	PING AN BANK CO LTD-A	銀行	中国人民币	中国	2.0
	組入銘柄数		61銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

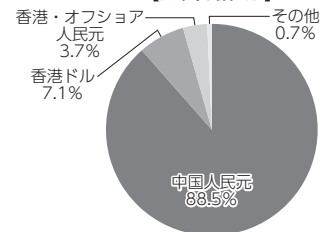
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。